

平成23年度 商業振興課 組織目標

目標項目 (何を)	22年度評価	23年度方針 (どんな状態にする)	目標数値(どれぐらい)			達成手段 (どのようにして)	
			22年度		23年度		
			目標値	実績	目標値		
にぎわい創出・観光領域 地域がそれぞれの特色を活かした中心市街地や商店街の活性化に積極的に取り組むとともに、自然・歴史・文化など地域資源の魅力を活かした観光を展開することにより、滋賀の魅力を国内外に発信することを目指します。	多様な主体が参画する商店街の活性化にむけた取組件数	にぎわいのまちづくり総合支援事業の「連携・協働促進、サービス産業振興事業」はもとより、「一般事業」においても多様な主体の参画を得ながら事業を実施することができた。	多様な主体の参画を促すことにより、これまで地域住民の暮らしと地域の振興に大きな役割を果たしてきた商店街の活性化に努め、にぎわいのあるまちづくりを推進する。	10件	14件	14件	各種広報媒体等を活用して事業周知を図るとともに、関係団体との連携・協力を通して、引き続き多様な主体の参画を促す。
連携強化戦略 企業が競争力を強化していくために、NPOなどの“民”も含めた産学官金民連携や地域間連携を推進するとともに、従来の第一次産業、第二次産業、第三次産業といった産業分類にとらわれず、業種の異なる事業者の有機的な連携を促進します。また、県行政においても、農政水産部をはじめとする部局横断連携により、効果的な施策の展開を図ります。	地と知をつくむビジネスデザイン構築事業	インキュベーションマネージャーによるきめ細かな入居者支援を実施することができたとともに、県内のインキュベーション施設や大学、市、関係機関との連携によるビジネスカフェあきんどひろばの開催等を通して、起業家の発掘・育成を行った。	SOHOビジネスオフィス入居者が、退去時点で入居時点に比べ事業拡大している。	33社/66社	40社/67社	47社/76社	インキュベーションマネージャーによる入居者支援を引き続き推進するとともに、特に県北部での創業支援機能の充実を図る。
	中小企業経営革新計画の承認件数	製造業からの申請案件が激減し、景気低迷の影響が見受けられる。一方で、その他の業種では一定数の申請があり、制度の浸透も進むなか、地域に根付いた特色ある事業内容が増えている。	県内の多様な業種・地域の中小企業が経営革新にチャレンジし、経営基盤の強化が進んでいる。前年度に引き続き、地域資源を活用した計画など、滋賀ならではの産業の掘り起こしに努める。	45件	31件	45件	支援機関との連携を密にし、引き続き案件の掘り起こしに努めるとともに、本制度のメリット(インセンティブ)について改めて検討し、制度の魅力向上につなげる。